



Subaru

## 男声合唱団

ニュース№495

'15. 2. 11

「昂」は銀賞曲2曲を歌う

## おおさかがんばろフェスタ開催！

2月8日

□2月8日（日）、東成区民センター大ホールにて、会場いっぱいの参加者で熱気あふれた「2015年おおさかがんばろフェスタ！」（主催 大阪のうたごえ協議会）が開催されました。

□今年は「田楽座（応援隊）」の若さあふれる「太鼓」演奏と、恒例の「獅子舞」にはじまり、各サークルの発表、大うたう会、今年の「日本のうたごえ IN 愛知」の宣伝と協力依頼、最後の「おたのしみ抽選会」を含めて多彩なフェスタが繰り広げられました。



□「ぞうれっしゃ」や「3匹のくま」の子供たちは振りのパフォーマンスのついた元気なステージを披露し、聴衆の大拍手をよびました。今年の「IN 愛知」では、「大音楽会」で、「ぞうれっしゃ5000」プロジェクトとして、5000人の大合唱を企画しています。



□昂はプログラムの最後近くで、INみやぎ合唱発表会銀賞受賞曲の「降りつむ」と「街をかえせ」を歌い、あわせて来年1月30日に予定している「第10回コンサート」の宣伝を行いました（昂のステージは全29名）。



□今回のサークル発表には講評者が2名つきました。「昴」の発表には下記の講評でした。

講評者	「降りつむ」	「街を返せ」	
武藤佳子先生	重厚な響きで聞き応えがあります。 全体に音程がもう少し決まりたいです。 曲の世界観がもっとクリアに伝わってくるといいと思いました。	よく揃ってメリハリのある迫力の演奏でした。	
中村聖保先生	よく歌い込まれているので、細部までていねいな処理が全体的に気持ちよかったです。 言葉のタイミング、メンバー内で少し感じ方が違ったのか、少しズレた所も。 「冬を越せよと」「その下から」「降りつむ～」ピッチ残念。（伸ばす音符の時、要注意ですね）。	メリハリがきいて印象的でした。所々、集中力が欠けなければ、いっそう、男声の力強さ（声のそろった）を出せて荒々しいだけにならずに、気持ちの良い響きと厚みになり客席に届けられそうですね。	コンサートに向けてがんばってください。 お疲れ様でした。

## 「林 弘訓さんを偲ぶ会」を開きました

2月8日

□フェスタの後、「興隆園」に場所を移し、「林 弘訓さんを偲ぶ会」を開きました。去年の10月6日に逝去され、すぐにも「偲ぶ会」を開くべきところ諸般の日程が合わず、遅ればせながら今日の日の開催になりました。昴の団員をはじめとして、林さんと親しかった友団の人たちも参集し、興隆園の2階満席の40人の集まりになりました。

□妻の久美子さんの心揺さぶられるあいさつ（よく尽くされました）のあと、林夫妻の仲人だった長屋正義さんの話を皮切りに、各人が懐かしい思い出を話し、優しく誠実だった生前の林弘訓さんを偲びました。



□その後、「同志はたおれぬ」を最初に、久美子さんからのリクエスト曲、「ゆらゆら春」など弘訓さんがこよなく愛した昴の愛唱歌をつぎつぎと献歌しました。既報でも書きましたが、弘訓さんは昴のステージ衣装の赤シャツを着、楽譜を持って旅立たれたそうです。

□献歌の中には、山下先生のピアノで久美子さんと本並先生とのデュエット「アイスクリームのうた」や、千秋団長のソロ、「ロシア民謡合唱団コスマス」のメンバーによる歌など、弘訓さんの「一番男前の写真」を抱いて、多彩な献歌をおこないました。

